

あゆみ通信

VOL. 122

あゆみの会(真宗大谷
派大阪教区第2組同朋
の会推進員連絡協議会)
会長 浪花 博
広報 本持 喜康

2組同朋大会にご参集を

第34回 第2組同朋大会

真宗にであう講演と歌曲の集い

2019年3月2日(土) 講師 梶原敬一 師

13:00開場 16:00開会

南御堂 同朋会館講堂

難波別院(南御堂)

大阪市中央区久太郎町4丁目1番11号

電話: (06) 6251-5820

講師 梶原敬一 師

姫路医療センター小児科医長

真宗大谷派 僧侶

講演 浄土の真宗は証道

いま盛なり

ソプラノ 藤澤敦子氏

ピアノ 外川千恵子氏

☆ソプラノ独唱☆

○花の経

○おぼろけの国

○world in Union ヌベーター

○その他の曲 当日のお楽しみ

お名前: 男性・女性

所属寺院名: *

参加費: 1000円(記念品有)

今年で34回を迎える第2組同朋大会が、3月2日(土)に難波別院同朋会館で開催されます。ご門徒の皆さん、誘い合わせて南御堂さんへおいで下さい。第2組の寺院のご門徒さんが、お念仏の御仲間と共に、宗祖親鸞聖人や蓮如上人ゆかりの難波別院で、真宗に出会い、懐かしい歌声で楽しみ、いのちの教えを聴聞できるのです。さあ、誘い合わせて出かけましょう。

第34回第2組同朋大会

日時 3月2日(土)

午後1時30分開会

(午後1時受付)

会場 南御堂同朋会館

地下鉄「本町駅から南

内容 お勤め、歌、法話

講師 梶原敬一先生

(姫路医療センター 医長)

演者 藤澤敦子さん(S)

外川千恵子さん(P)

参加費 1,000円(記念品有)

あゆみの会総会開く



2018年12月16日(日) 午後1時30分から、西成区の行圓寺(竹内博明住職)をお借りしてあゆみの会総会が海老海恵幸組長(了安寺)と喜左上恵子組長補佐(紹隆寺)をお招きして開催され、16名の会員が参加した。吉田雄彦副会長(法山寺)の進行で開会、真宗宗歌を斉唱。開会挨拶は浪花博会長(法山寺)、来賓挨拶を海老海組長からいただいた。委任状を含めて会の成立を確認し、議事に入り、事業報告、事業計画案を吉田副会長が、会計報告と予算案を宮澤典男会計(即應寺)が行い、監査報告を細川孝子委員(佛足寺)が行い、承認。続いて吉田副会長から行事予定と、大阪教区が幹事となる「近畿連区研修会」について説明があり、議事を終了した。引き続き竹内住職より「真宗の教え」と言う講題でお話をいただき、終了後はお茶とお菓子をいただきながら懇親会で歓談をし、最後に恩徳讃を斉唱し、終了した。

全推進員のつどい

今年のテーマは「同朋の会をひろめようーお寺で聞こう、お寺で話そう」です。

日時 2019年2月17日(日)

午後1時30分開会

受付 午後1時から

会場 難波別院 本堂

対象 推進員、住職、寺族等

内容 お勤め、意見発表

講演

講師

川村妙慶師

(真宗大谷派僧

侶、フリーア

ナウンサー)

参加申し込み お手次のお寺へ、1/31までに。



喉元過ぎれば

つくづくと思うのだが、痛恨の極みのような事実に出会って、例えば、阪神淡路大震災や東日本大震災と福島原発事故、そして以後、毎年のように起こる台風等の災害につけても、「絶対にこのことは胆に銘じて忘れないぞ」と思いながら、いつの間にか、年と共に忘れていく。記憶が薄れるということは無いだろうか。

そんな時に、身体の奥底から「お前、それで善いのか」「何か、大事なことを忘れていないか」と、問い続ける声が聞こえる。法蔵菩薩の声である。藤井善隆住職(当時)から聞いた、曾我量深師の「如来は我なり、如来我となりて我を救い賜う」「如来我となるとは、法蔵菩薩降誕のことなり」と言う言葉を思い出す。今年も、「聞法第一」である。合掌。(本)

あゆみの会総会

竹内先生の法話聞書

細川克彦(佛足寺)

竹内先生

は、「真宗の教え」と言う講題で、宗祖親鸞聖人の教えが一般の仏道とどんな違いがあるのかをお話いただいた。一般の仏道は、まず教えがあってそれを信じ、その教えの通り修行して、それが成就すれば証(さと)りを得ることができるというものである。親鸞聖人は比叡山において、20年間修業をされたが、成就の困難なことに気付かれ、山を下りて、お念仏の教えを説いておられる法然上人のもとへ行かれた。



一方、親鸞聖人の言われる仏道というのは、「教え」があって、次に「行」があり、そして「信」があり、「証」に至ると言う、教も行も信も証もすべて阿弥陀様から私に向けてのお働き、お仕事であって私が行ずるものは何もないという教えである。

私たちは、信心は自分が努力して得るものだと思いますが、存覚上人は「浄土真要集」の中で「一念帰命の信心は凡夫自力の迷信にあらず如来清浄本願の智心なり」



と言われ、信心は私が起こすのではなく、如来の心であると。

また、「高僧和讃」の中の「善導和讃」では「釈迦弥陀は慈悲の父母 種種に善巧方便し 我らが無上の信心を發起せしめたまいけり」を引かれ、發起と言う言葉に左訓をつけられ「(略)昔よりありしことをおこすを発といふ。今はじめておこすを起といふ」と。信心は私が気付くというより、前から、生れた時から備わっており、いのちの働きとして賜った心が信心である。真宗の教えは聞いてえらくなるのではなく、我が身が愚かな身としていよいよはっきりしてくる教えである。

最後に、推進員は、聞法していかれる住職と共に、お寺



を教えを聞く場(道場)になるよう住職を助けて、同朋の輪を拡げ、お隣の方や子や孫に続いていくのが同朋会運動の願いであり、親鸞聖人の願いではないかと話された。

(事務局欠席で、細川さんを始め、多くの方の協力で今回も発行が出来たことに感謝)

教区・第2組の行事予定

●全推進員のつどい

日時 2月17日(日)

午後1時30分

会場 難波別院 本堂

内容等 (別掲参照)

●第34回第2組同朋大会

日時 3月2日(土)

午後1時30分

会場 難波別院 同朋会館

内容 (別掲参照)

対象 第2組門徒等

●第2組門徒会員研修大会&あゆみの会第1回例会合同研修会

日時 3月29日(金)

午後1時30分

会場 法山寺(阿倍野区天王寺町)

講師 広瀬 俊先生

(17組 法観寺)

●大推協公開講座

日時 4月10日(火)

午後1時30分

会場 難波別院 同朋会館

講師 宮部 渡先生(詳細未定)

●第2組聞法会

「共に学ぶ『正信偈』」

日時 5月13日(土)

午後2時

会場 未定

講師 新田修巳先生

(平野区 正業寺)

参加費 500円

●近畿連区同朋の会推進研修会

日時 5月30日(木)~31日(金)

会場 石切 ホテルセイリウウ

講師 池田勇諦先生

(詳細別途)

(注) 予定です。諸般の事情で変更の場合があります。

●第2組聞法会

日時 6月15日(土)

午後2時

会場 未定

講師 藤園 恵先生

(松原市 願久寺)